

宮田脩 シウダ 教育家。明治七年十月東京生れ、昭和十一年二月十九日
 没（一八七四—一九三七）。號木佛、素菴。明治二十一年東京專門學校文學部
 卒。雜誌『日本教育』、『丁酉倫理講演集』、『教育學新界』等の記
 者として、ち茶良縣政務中學校の主任。その後、成女高等女學校校長の
 たり、後、東京女子師範学校附屬高等女學校校長、全國高等女學校長協會理
 事、修養團事務理事等々々の教育教化團體の役員を務めた。また實業
 宮田暢が編輯同人として活躍した社會主義的の學社火鞭會の機關誌
 『火鞭』の贊助者となつて、自らも筆を執り、『荒尾謙介を憶ふ』『金色
 夜叉』を讀みぬ（『素菴生名、第壹號・明治二十八年九月十日刊』）、
 『社會の道徳對宗教の關係』就（『』）（『等』二卷第一號・明治二十九年
 四月十日刊）等を發表。他に『蘇茶』『ユルデアツヤ姫』（沙翁作）『キンダ、
 リヤ』の二篇（『宮田素庵名、』）『女學世界』第四卷第四號定期増刊
 ・春乃卷「女學校生活」明治二十七年二月十五日博文館所掲）がある。
 著書 『通俗言語學』（明治二十二年二月十日博文館）『通俗百科全書』
 等。

